

## 医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	産褥出血への初動対応プロトコルの作成
研究責任者	秋永 智永子
研究機関名	浜松医科大学医学部附属病院
研究目的と意義	産科大量出血は、日本の母体死亡原因の第一位を占めている。母体の致命的な状態を回避し、早期回復を達成するためには、科や部門を超えた協力体制と集学的治療が重要であることは強調されて久しい。そこで、病棟で発生する経膈分娩後の大量出血に、迅速で的確に対応するためのプロトコル作成を目的として本研究を行う
研究期間	西暦2016年12月（倫理委員会承認後）～2021年11月
研究方法	<p>●対象となる患者さん：</p> <p>2012年1月から2016年11月までに浜松医科大学医学部附属病院で出産された患者さんのなかで、産後出血量が1,000ml以上の方</p> <p>●研究に使用する試料：</p> <p>(1) 麻酔科医による診察用紙 (2) 麻酔の記録用紙 (3) カルテに記載のある内容</p> <p>●研究方法</p> <p>当院の産褥出血症例（産後出血量1,000ml以上）を後方視的に検討する。患者背景、分娩様式、出血原因と経過、治療、輸血量、転帰に関する情報を抽出し、分娩後のどの時点で集学的治療を始めるべきなのかを明らかにする。そして、産科、麻酔科、集中治療部、手術部、輸血部で協議し、当院の産褥出血初期対応プロトコルを作成する。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：周産母子センター 担当者：秋永智永子 TEL：053-435-2286 FAX：053-435-2738 E-mail：cnaka@hama-med.ac.jp